

「節外性NK/T細胞リンパ腫国際研究プロジェクト:アンソラサイクリン を含まない治療の時代における予後因子解析研究」へのご協力のお願い

-1995年1月1日～2012年12月31日までに当院で節外性NK/T細胞リンパ腫・鼻型と診断された方へ-

研究機関名	岡山大学病院血液腫瘍内科		
責任研究者	岡山大学病院血液腫瘍内科	助教	前田嘉信
分担研究者	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科血液・腫瘍・呼吸器内科学分野	教授	谷本光音
	岡山大学病院血液腫瘍内科	助教	松岡賢市
	岡山大学病院輸血部	講師	藤井伸治
	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科社会環境生命科学総合社会医科学講座総合内科学	講師	近藤英生
	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科血液・腫瘍・呼吸器内科学分野	助教	西森久和

1. 研究の意義と目的

節外性NK/T細胞リンパ腫、鼻型(extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal type, ENKTL)は、非常にまれな末梢性T細胞リンパ腫です。これまでアンソラサイクリン系と呼ばれる抗がん剤がこの病気に使用されていましたが、効果が乏しかったのですが、最近になり、このアンソラサイクリン系を含まない抗がん剤の組み合わせ、もしくは同時に放射線治療を行うことで、治療成績が改善しています。そこで、アンソラサイクリン系を含まない治療をする時代においてこの病気の予後（生存期間および治療への反応性）について調べる必要があります。稀なリンパ腫ということで世界中のENKTL患者様を対象に検討したほうがよいと考えられ、当院もこの研究に参加することになりました。この研究成果によって、今後の本疾患治療においてよりよい治療方針をたてることのできることを期待しております。

2. 研究の方法

1) 研究対象：

1995年1月1日から2012年12月31日までの期間、当院で節外性NK/T細胞リンパ腫、鼻型と診断された患者様を対象にします。

2) 調査期間：

2013年12月開催の倫理委員会承認後から2013年12月31日までです

3) 研究方法：

1995年1月1日から2012年12月31日までの期間、当院で節外性NK/T細胞リンパ腫、鼻型と診断された患者様の診療情報をもとに研究者がデータを選び、血液検査データと生存期間、合併症に関してコンピュータ分析を行い、予後を検討します。

4) 調査票等：

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・年齢、性別、誕生日、国籍、人種、臨床病期、節外病変部位数、血清LDH値、全身状態(ECOG performance status)、B症状の有無、所属リンパ節腫張、国際予後指標(International Prognostic Index)、NK予後指標(NK-IPI)、骨髄浸潤の有無、治療法、開始日、最終治療日

また、病理組織を診断の再確認のために匿名化した上で使用させていただきます。

5) 情報の保護：

調査情報は岡山大学病院血液腫瘍内科内と、研究代表施設であるサムスン医療センター（韓国）内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2014年1月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。この期間中にお申出がなければご了解を得たものと判断させていただきます。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 血液腫瘍内科

氏名：前田 嘉信

電話：086-235-7227 ファックス：086-232-8226